

「はたらき」を化学する

2012年度決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 安藤 孝夫

<http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
コード番号:4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2013年5月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社 広報部

TEL 075-541-4312

FAX 075-551-2557

E-mail pr-group@sanyo-chemical.com

会社概要

創 立:1949(昭和24)年11月1日

本 社:京都市東山区

資 本 金:130億5,100万円

大 株 主:豊田通商(株):19.4%、東レ(株):17.3%

(株)日本触媒:5.0%、JXホールディングス(株):4.8%

(持株比率は、自己株式(7,382,003株)を控除して算出しております。)

[2013年3月31日現在]

国内営業所:東京、大阪、名古屋、広島、福岡、富山

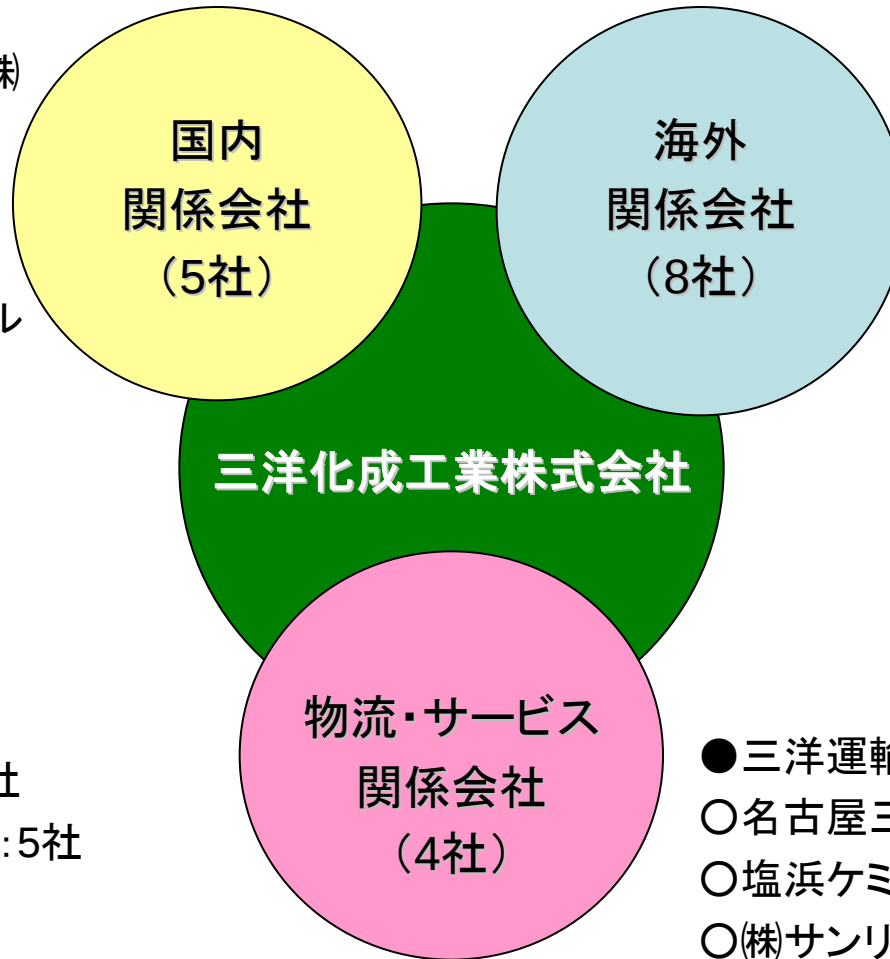
国内工場:名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎(サンケミカル)

従業員数:1,865名(連結)[2013年3月31日現在]

事業内容:約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス
(機能化学品)の製造販売

三洋化成グループ

- 三洋化成精細化学品
(南通)有限公司
- 三大雅精細化学品
(南通)有限公司
- 三洋化成(上海)貿易
有限公司
- Sanyo Kasei
(Thailand) Ltd.
- SANAM Corp. (米国)
- Sanyo Chemical &
Resins, LLC (米国)
- Sanyo Chemical Texas
Industries, LLC (米国)
- Sunrise Chemical LLC
(米国)
- 三洋運輸(株) ※
- 名古屋三洋倉庫(株)
- 塩浜ケミカル倉庫(株)
- (株)サンリビング



- サンダイヤポリマー(株)
- サンノプコ(株)
- サンケミカル(株)
- サンアプロ(株)
- (株)サン・ペトロケミカル

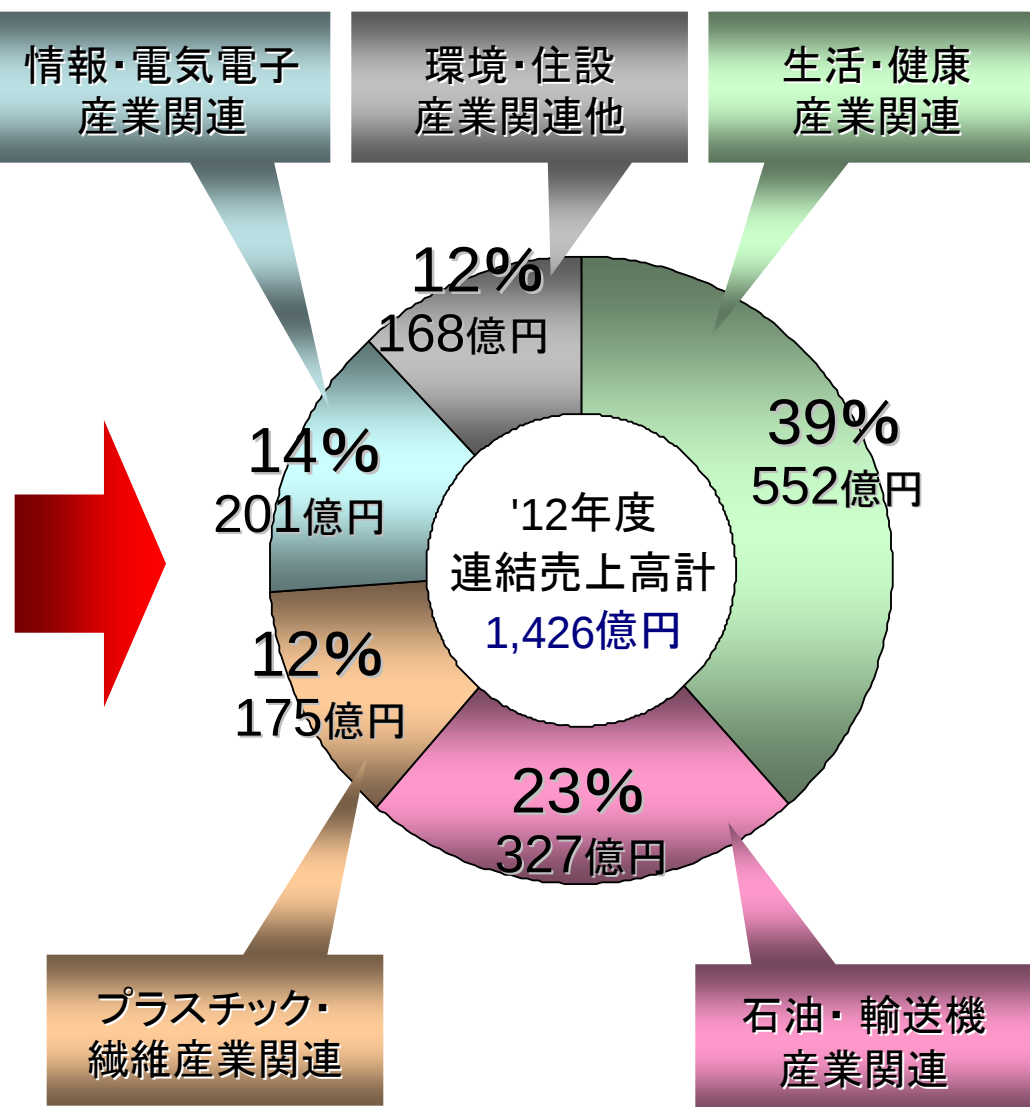
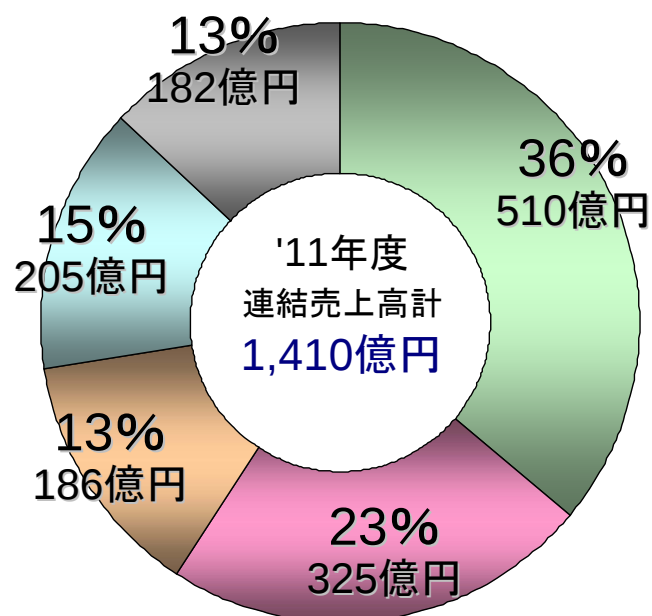
- 連結子会社: 12社
- 持分法適用会社: 5社

※持分法を適用していた三洋運輸(株)は、重要性が増加したため、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めています。

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂(SAP)、医薬品原料、殺菌消毒剤、 EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用原料 (PPG)、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、 合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、 ポリウレタンエラストマー原料、塗料用樹脂、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤 人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ(PEB)、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電気二重層キャパシタ用電解液、 電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂、シリコンウエハ製造工程用薬剤
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、ポリウレタン断熱材原料(PPG)、泥水用薬剤、 建築シーラント用原料、反応性ホットメルト接着剤

連結産業分野別売上高構成



'12年度業績

(億円)

連 結	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	1,426.5	1,410.4	16.1	1
営業利益	61.8	57.6	4.2	7
経常利益	72.6	69.5	3.0	4
純利益	41.7	37.0	4.7	13
包括利益	65.6	43.7	21.9	50

(億円)

単 体	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	947.4	980.5	▲33.0	▲3
営業利益	28.5	22.7	5.8	26
経常利益	54.1	51.7	2.4	5
純利益	40.4	35.3	5.0	14

関係会社'12年度業績(単純合算)

連結子会社12社

(当第3四半期末より連結子会社化した三洋運輸(株)を含む) (億円)

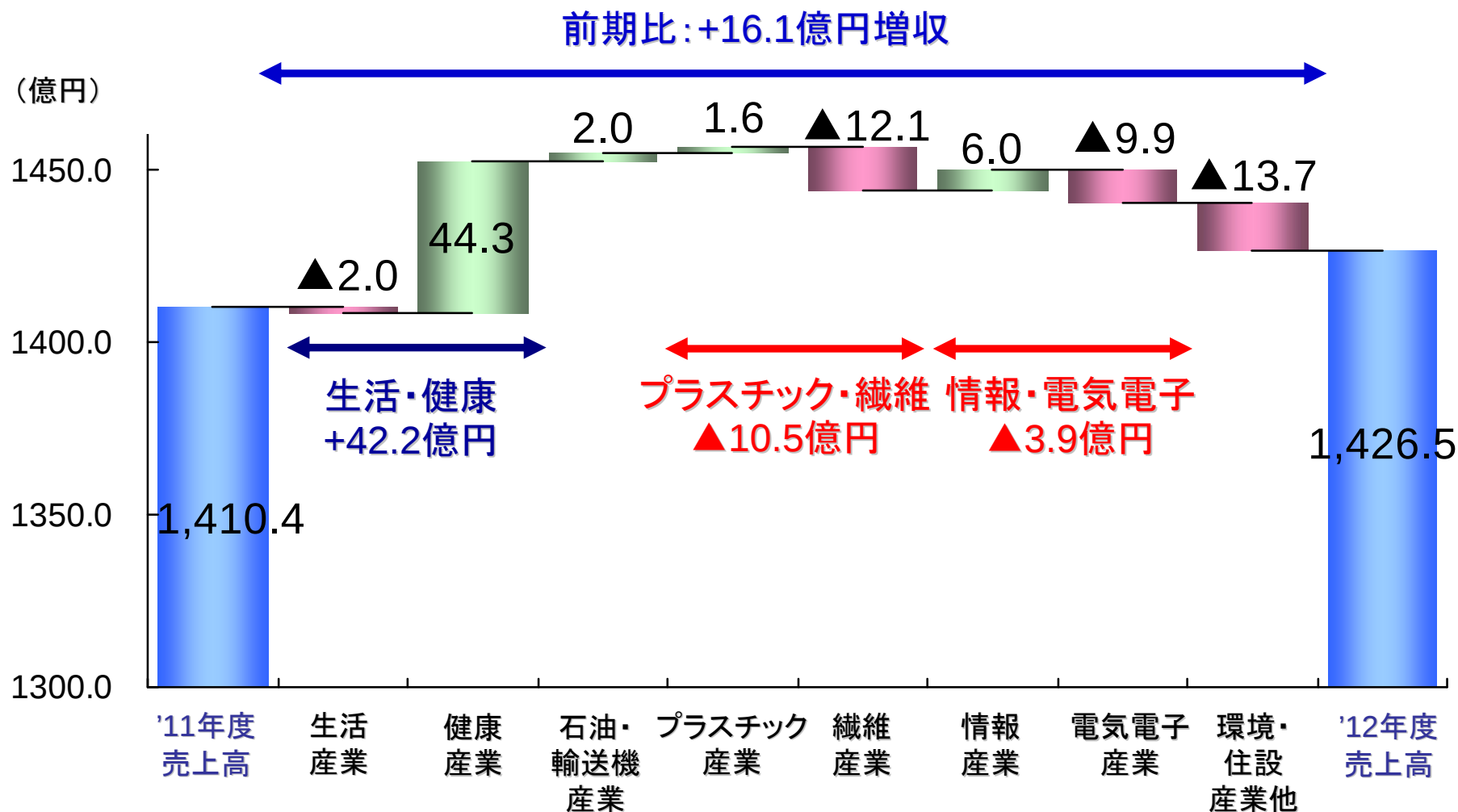
	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	754.0	709.1	44.8	6
営業利益	28.4	30.2	▲1.7	▲6
経常利益	33.5	42.5	▲8.9	▲21

内、SDPグループ(SDP & SDN)

(億円)

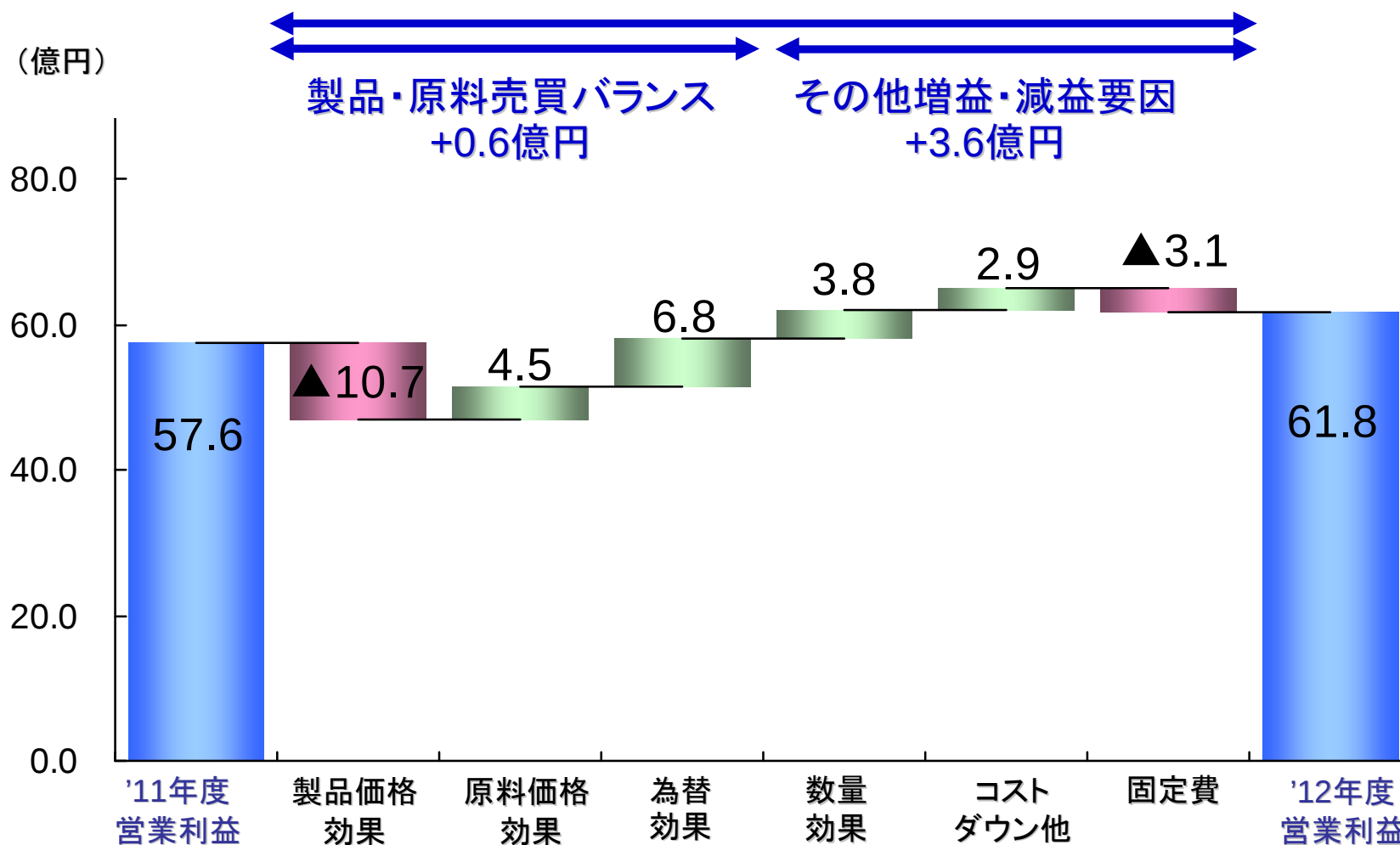
	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	387.4	338.9	48.5	14
営業利益	13.7	13.8	▲0.0	▲1
経常利益	16.4	20.5	▲4.0	▲20

連結売上高の産業分野別前期比増減



連結営業利益の前期比増減要因

前期比: +4.2億円増益



連結純利益の前期比増減要因

(億円)

	'12年度	'11年度	増減額
営業利益	61.8	57.6	4.2
持分法投資損益	3.8	8.6	▲4.7
為替差損益	4.4	▲0.3	4.7
その他営業外損益	2.4	3.6	▲1.1
経常利益	72.6	69.5	3.0
固定資産除却・売却による損益	▲6.0	▲4.1	▲1.8
その他特別損益	1.0	1.7	▲0.6
税金等調整前純利益	67.7	67.1	0.6
法人税等支払いなど	▲20.1	▲23.0	2.9
少数株主利益控除	▲5.8	▲6.9	1.1
純利益	41.7	37.0	4.7

連結貸借対照表

(億円)

	2013年 3月31日	2012年 3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	738	708	30	現金及び預金(8)、 受取手形及び売掛金(5)、たな卸資産(17)
固定資産	815	783	32	有形固定資産(17)、のれん(13)、 投資有価証券(▲2)
資産合計	1,554	1,491	62	
流動負債	504	468	36	短期借入金(46)
固定負債	106	118	▲11	長期借入金(▲8)、退職給付引当金(▲5)
負債合計	611	586	24	
株主資本	866	841	25	当期純利益(41)、配当金支払(▲16)
その他包括 利益累計額	45	31	14	その他有価証券評価差額金(4)、 為替換算調整勘定(10)
少数株主持分	29	32	▲2	
純資産合計	942	905	37	
負債・純資産合計	1,554	1,491	62	

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'12年度	'11年度	増減額	主な増減要因
営業活動CF	132	88	44	
税金等調整前純利益	67	67	0	
減価償却費	92	95	▲3	
持分法投資損益	▲3	▲8	4	
運転資金の増減	▲20	▲33	13	売上債権(65)、たな卸資産(9)、仕入債務(▲61)
法人税等	▲8	▲31	22	
その他	5	▲0	6	
投資活動CF	▲134	▲114	▲19	子会社株式等の追加取得(▲21)
フリーCF	▲1	▲26	24	
財務活動CF	4	0	3	('12年度) 借入(100)、返済(▲73)、配当金支払(▲16)
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	▲1	3	
現金及び現金同等物の増減額	5	▲26	32	
現金及び現金同等物の期首残高	93	120	▲26	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—	2	三洋運輸(株)の新規連結による
現金及び現金同等物期末残高	101	93	8	

'13年度業績予想

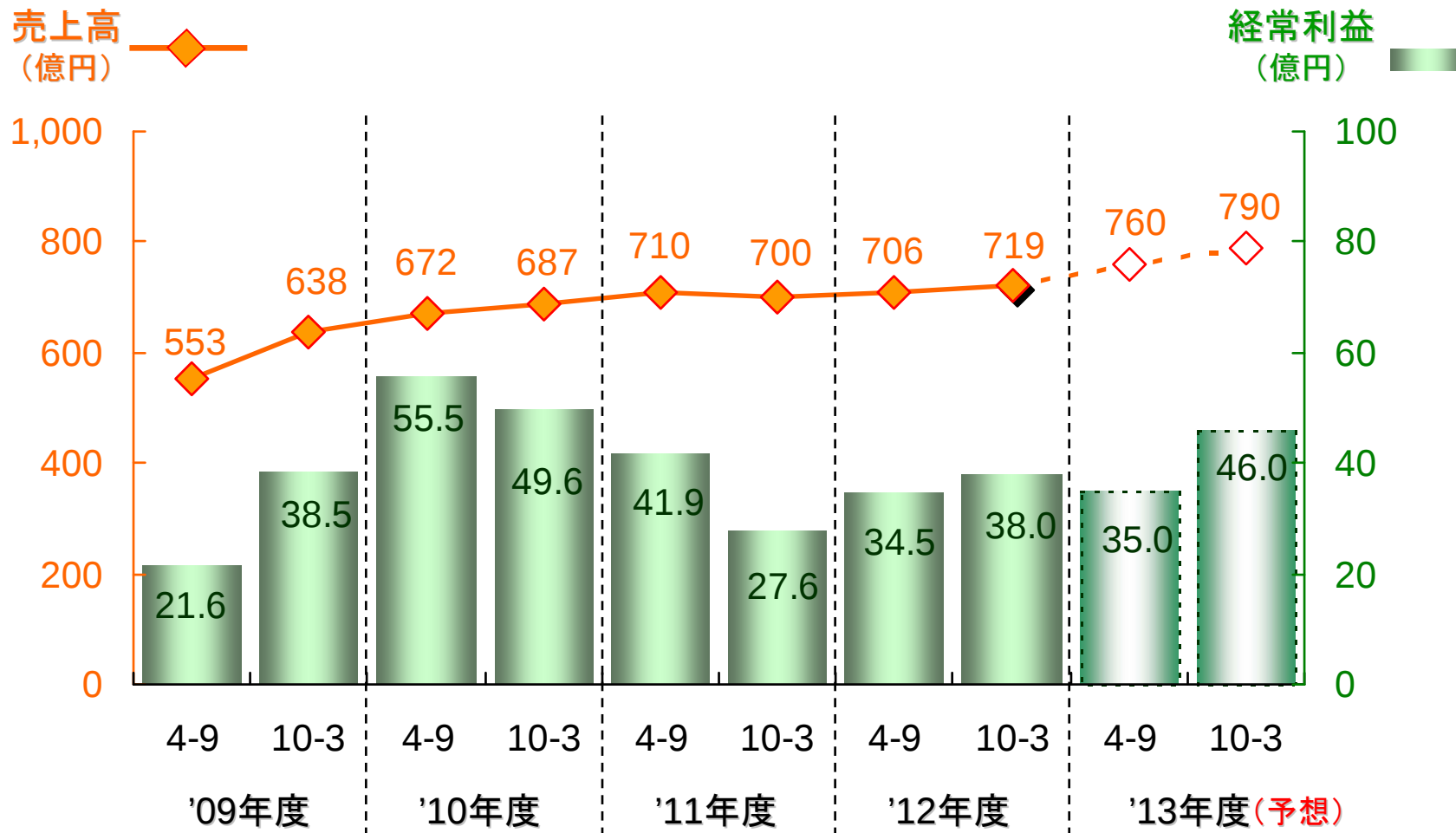
(億円)

連結	通 期			第2四半期(4-9月期)		
	'13年度 予想値	'12年度 実績	増減率(%)	'13年度 予想値	'12年度 実績	増減率(%)
売上高	1,550.0	1,426.5	9	760.0	706.8	8
営業利益	74.0	61.8	20	31.0	29.8	4
経常利益	81.0	72.6	11	35.0	34.5	1
純利益	49.0	41.7	17	20.0	19.1	5

単 体	通 期			第2四半期(4-9月期)		
	'13年度 予想値	'12年度 実績	増減率(%)	'13年度 予想値	'12年度 実績	増減率(%)
売上高	970.0	947.4	2	470.0	475.4	▲1
営業利益	30.0	28.5	5	12.0	15.2	▲22
経常利益	50.0	54.1	▲8	22.0	30.0	▲27
純利益	36.0	40.4	▲11	16.0	21.5	▲26

<業績予想の前提条件> 国産ナフサ価格:63千円/kl、為替レート:92円/ドル

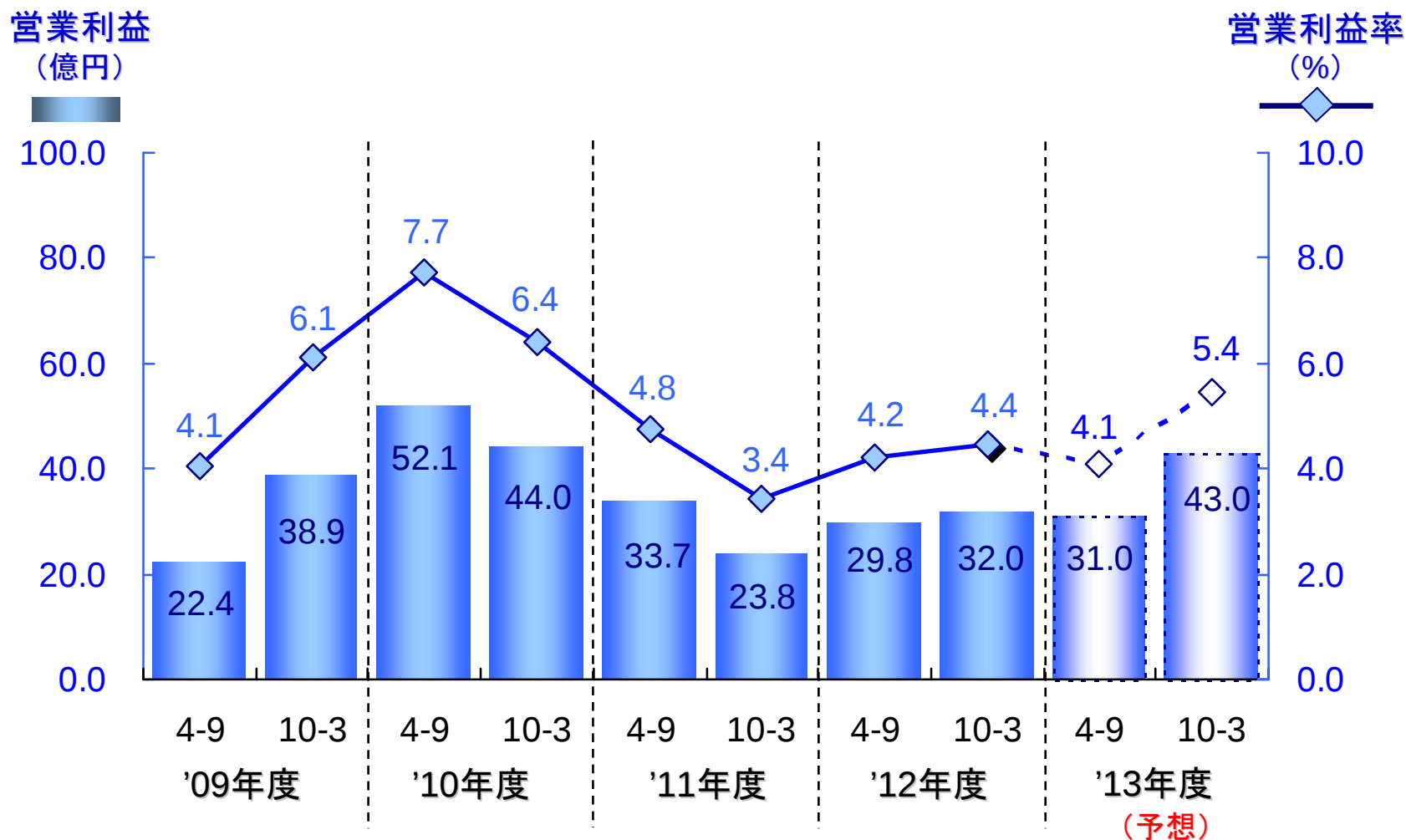
連結業績の推移('13年度予想)



・'12年度の売上高は、中国での高吸水性樹脂設備の増設効果が寄与し増収となった。'13年度もこの増設効果が引き続き寄与する、および、デボトルネッキング(生産工程の改善)を行うことでさらなる増収を見込む

・'12年度の利益面では、中国での増収効果に加え固定費の圧縮などにより増益となった。'13年度も増収効果に加え、固定費の圧縮などによりさらなる増益を見込む

連結営業利益(同率)の推移('13年度予想)



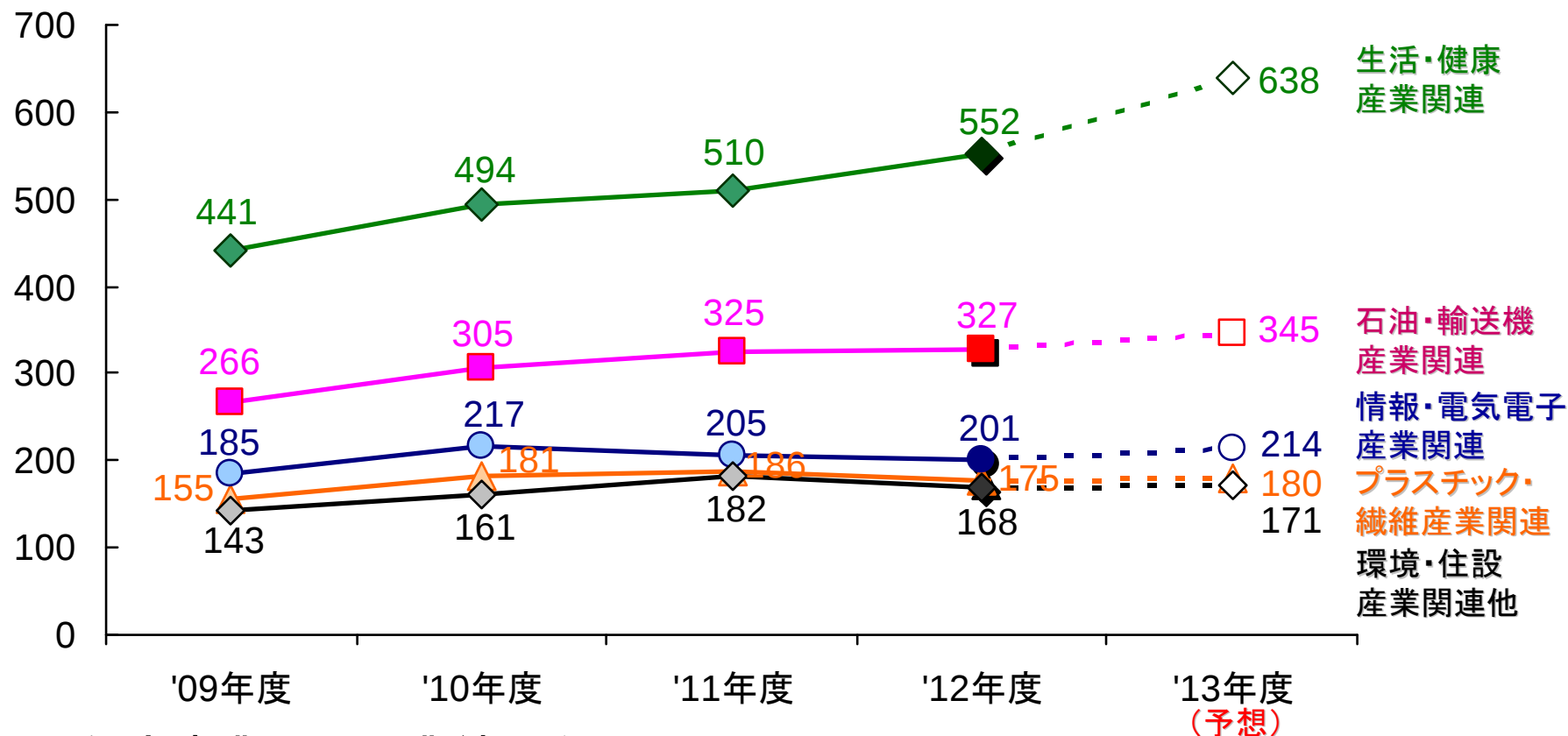
連結産業分野別売上高

(億円)

産業分野	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
生活・健康産業関連	552.8	510.5	42.2	8
生活産業関連	138.5	140.6	▲2.0	▲1
健康産業関連	414.2	369.9	44.3	12
石油・輸送機産業関連	327.9	325.8	2.0	1
プラスチック・繊維産業関連	175.6	186.2	▲10.5	▲6
プラスチック産業関連	109.6	107.9	1.6	2
繊維産業関連	66.0	78.2	▲12.1	▲16
情報・電気電子産業関連	201.1	205.0	▲3.9	▲2
情報産業関連	152.0	145.9	6.0	4
電気電子産業関連	49.1	59.0	▲9.9	▲17
環境・住設産業関連他	168.9	182.6	▲13.7	▲8
合計	1,426.5	1,410.4	16.1	1

連結産業分野別売上高の推移

(億円)



'12年度産業分野別業績の主要因

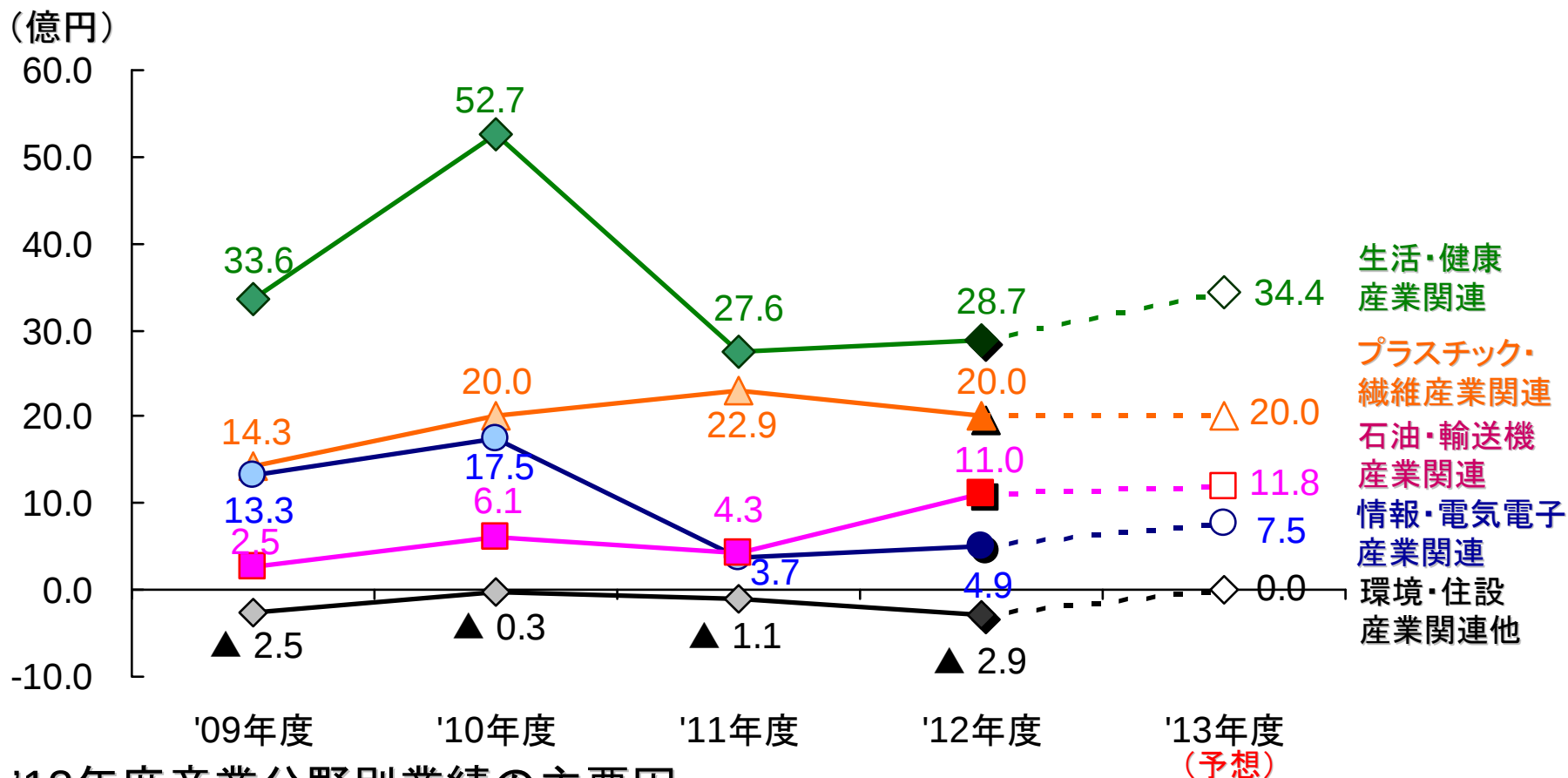
- | | |
|---------------|--|
| 生活・健康産業関連 | : 高吸水性樹脂の中国における増設効果 |
| 石油・輸送機産業関連 | : 省燃費対応潤滑油添加剤が好調に推移したが、海外向けPPGが低調 |
| プラスチック・繊維産業関連 | : 永久帯電防止剤、海外向けガラス繊維用薬剤などの需要が低迷 |
| 情報・電気電子産業関連 | : 重合トナー中間体ポリエステルビーズが売り上げを伸ばしたものの、アルミ電解コンデンサ用電解液等の需要が低迷 |
| 環境・住設産業関連他 | : 高分子凝集剤原料の需要低迷に加え、家具・断熱材向けPPGの海外販売低調 |

連結産業分野別営業利益

(億円)

産業分野	'12年度	'11年度	前期比	
			増減額	増減率(%)
生活・健康産業関連	28.7	27.6	1.1	4
石油・輸送機産業関連	11.0	4.3	6.6	2.5倍
プラスチック・繊維産業関連	20.0	22.9	▲2.9	▲13
情報・電気電子産業関連	4.9	3.7	1.1	30
環境・住設産業関連他	▲2.9	▲1.1	▲1.8	—
合計	61.8	57.6	4.2	7

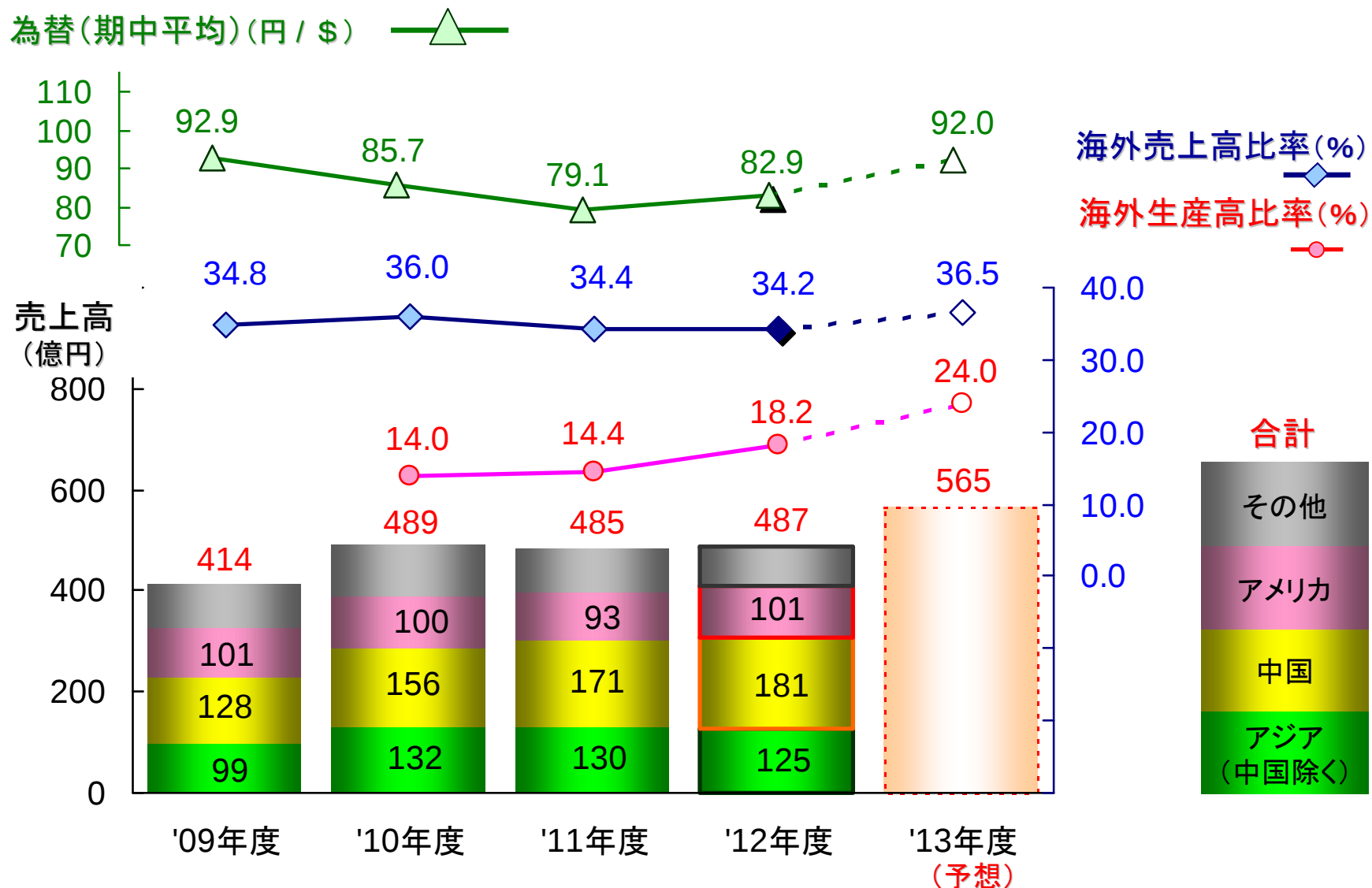
連結産業分野別営業利益の推移



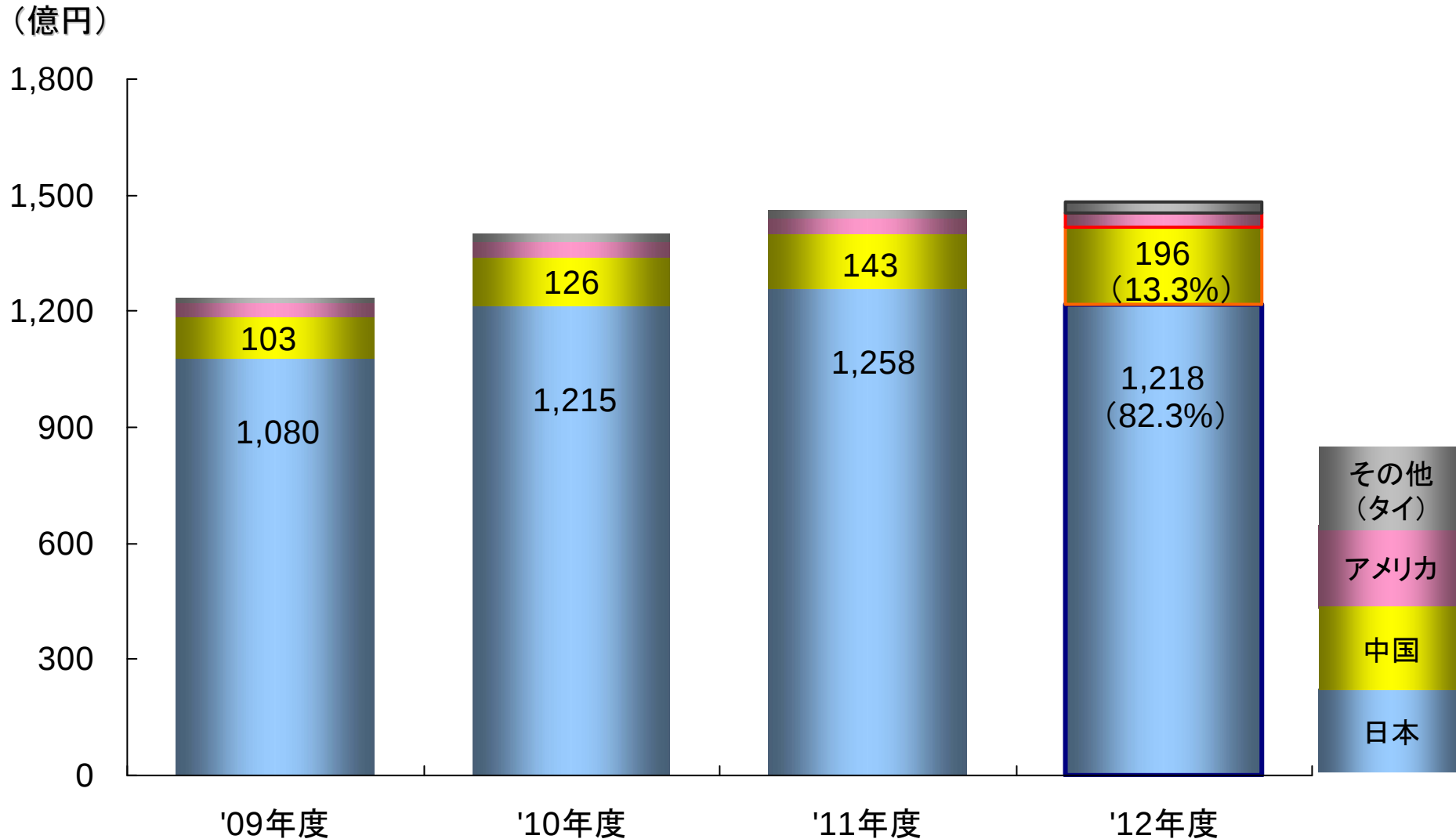
'12年度産業分野別業績の主要因

生活・健康産業関連	: 高吸水性樹脂の中国における増設効果はあったものの、競争激化によるスプレッド悪化などにより微増益
石油・輸送機産業関連	: 省燃費対応潤滑油添加剤が好調に推移し、大幅増益
プラスチック・繊維産業関連	: ガラス繊維用薬剤など繊維産業の需要が低迷し減益
情報・電気電子産業関連	: 重合トナー中間体ポリエステルビーズの増収効果により増益
環境・住設産業関連他	: 高分子凝集剤原料、PPGの不調に加え、固定費の増加により減益

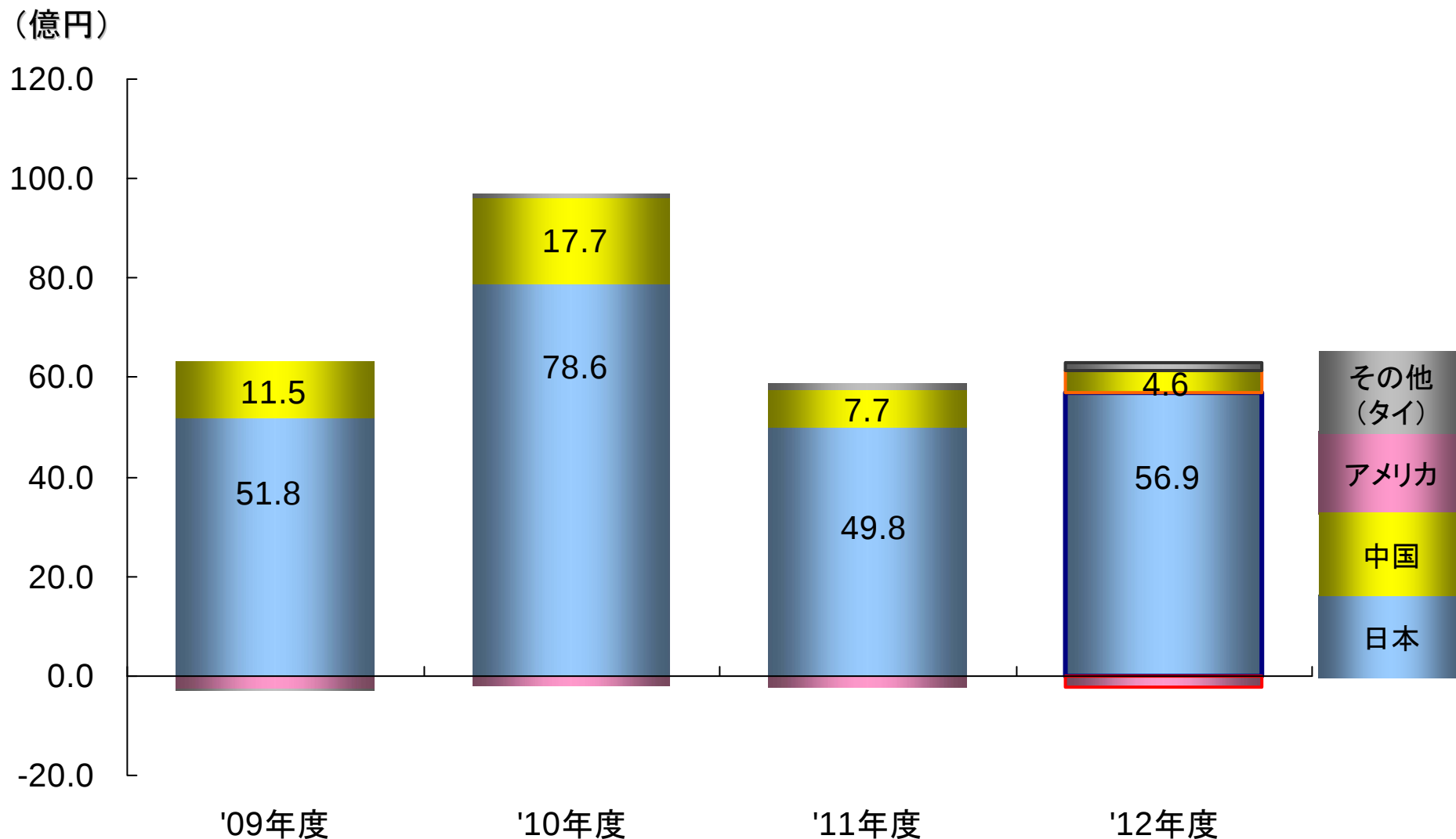
連結海外売上高の推移



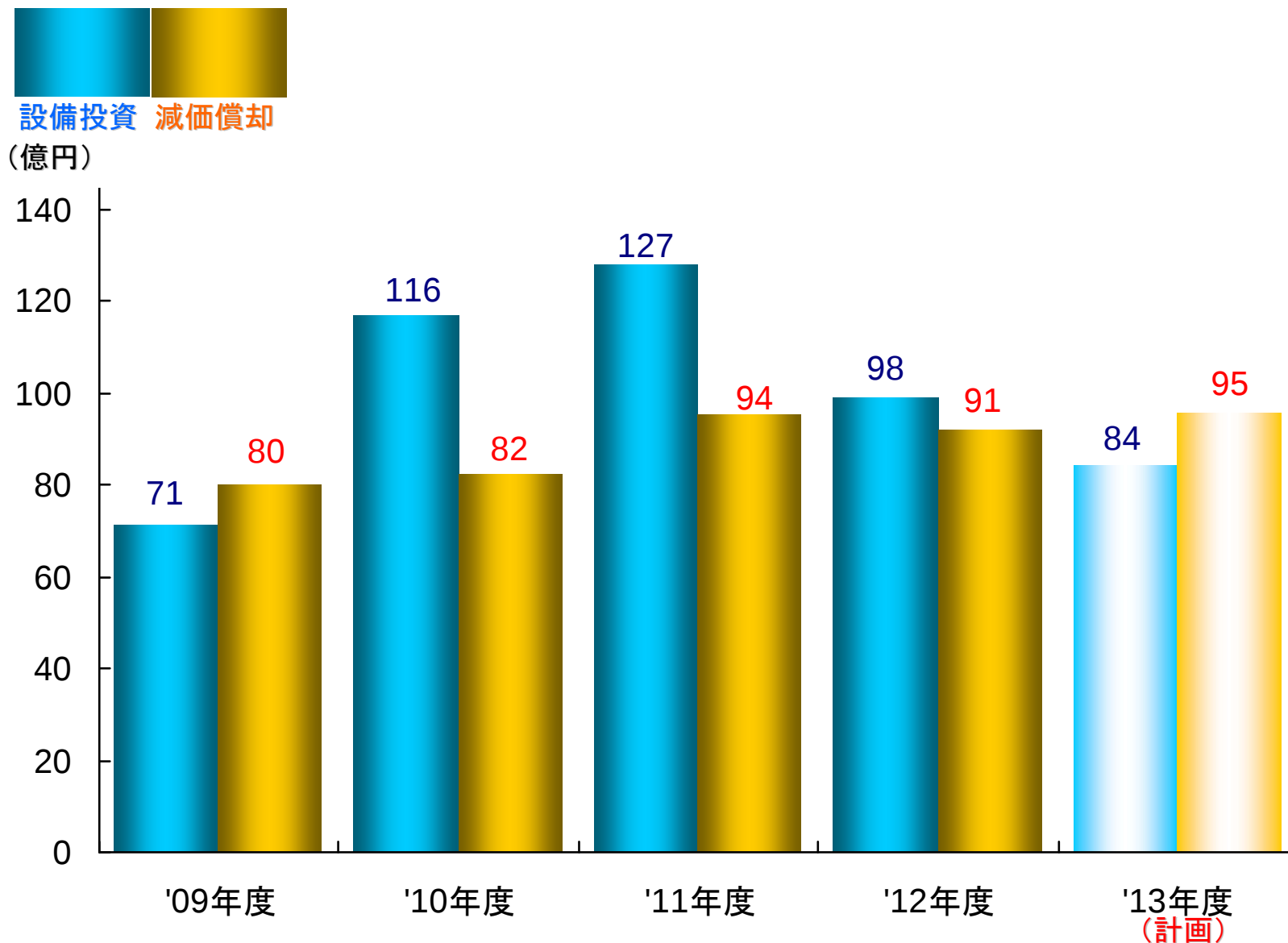
連結所在地別売上高の推移(単純合算)



連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



連結設備投資額と減価償却費



主な設備投資アイテム

(億円)

	'12年度	'13年度 (計画)
設備投資額	98	84
減価償却費	91	95

(※)

SKN: 三洋化成精細化学品(南通)

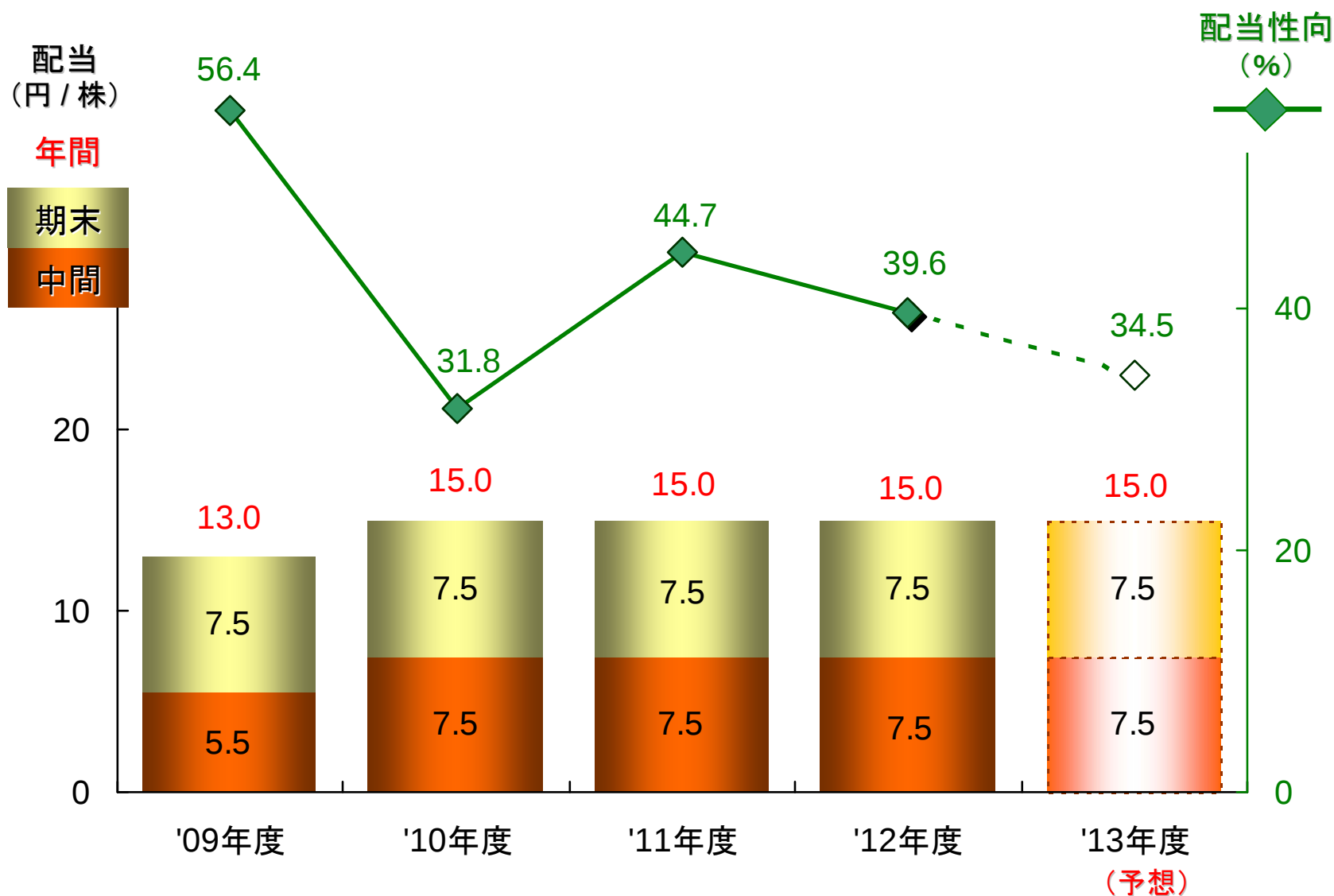
SCR: サンヨーケミカル・アンド・レジンスLLC

SKT: サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド

(億円)

			稼働時期 (年度)	総投資額 (過年度)
単体		新製造事務所	2012	4
		潤滑油添加剤製造設備	2012	23
		新プロセス対応PPGパイロット設備	2012	5
		トナーバインダー製造設備	2013	22
		超臨界プロセス検討用パイロット設備	2013	8
		生産革新	2011-13	4
		海外子会社業務システム(SAP)導入	2013	3
関係会社 (※)	SKN	有機合成設備	2012	3
		有機合成設備	2013	4
	SCR	潤滑油添加剤製造設備	2013	5
	SKT	電子部品製造工程用洗浄剤製造設備	2012	1
		有機合成設備	2013	1

1株当たり配当と配当性向の推移(連結)



第8次中期経営計画



基本戦略

- (1) “人”中心の経営の進化
- (2) グループ経営の推進
- (3) グローバル化の強化
- (4) 売上の拡大
- (5) 収益力の向上

’14年度数値目標

連結売上高	2,000億円以上
連結営業利益	200億円以上
ROA	12%以上

中長期的な会社の経営戦略に変更はないものの、
経営環境の大きな変化を踏まえ、**2015年度からスタートする
第9次中期経営計画策定による数値目標を新たに設定する**

第8次中期経営計画

第8次中計
('11～'14年度)

第9次中計
('15年度～)

名実ともに大企業へ

◇戦略的開発品への経営資源の集中

◇グローバル成長戦略の強化

基盤事業の拡大

SAP(高吸水性樹脂)、PPG、トナー用材料、潤滑油添加剤

◇グループ経営の推進

会計、発注等の一元管理システム(SAP)を海外関係会社に導入

◇グローバル人材の育成

次期(第9次)中計へつなぐ年に



戦略的開発品の進捗状況

戦略的開発品

収益力向上と事業領域拡大を支える“原動力”

第8次戦略的開発品
(18アイテム)

新分野アイテム
(8アイテム)

第7次戦略的開発品
(11アイテム)

基盤拡大アイテム
(10アイテム)

エネルギー関連薬剤
電子部品用薬剤
バイオ関連薬剤 など
SAP
トナー用材料
PPG など (億円)

	'10年度	'11年度	'12年度	'14年度 目標
第8次戦略的開発品	27	48	95	390
新分野アイテム	9	7	7	90
基盤拡大アイテム	17	41	88	300
第7次戦略的開発品	191	195	202	270
戦略的開発品 合計	218	243	297	660

(億円)

	'10年度	'11年度	'12年度	'14年度 目標
生活・バイオ分野他	1	13	46	140
自動車分野	91	113	135	194
情報・電気電子材料分野	125	117	116	324
戦略的開発品 合計	218	243	297	660

(一部数値の見直しを行いました)

戦略的開発品の進捗状況

第8次中期経営計画



SDN



衣浦工場AOAプラント

	戦略的開発品	
	基盤拡大アイテム	新分野アイテム
重点基盤事業	SAP トナー用材料 PPG	
その他	潤滑油添加剤、等	エネルギー関連薬剤 電子部品用薬剤 バイオ関連薬剤、等

OSAP

- ・SG-SAPの浸透拡大
- ・中国(SDN)でデボトルネッキングによる生産数量UP(+1万t/年)

○トナー用材料

- ・新製品開発にむけ経営資源を集中(低温定着性能向上、等)

○PPG

- ・衣浦工場内にパイロットプラント建設完了
- ・新規PPG(軽量化に貢献)の本格生産設備導入に向けアクション中

○潤滑油添加剤

- ・日本、米国での設備増設・新設を完了(計5.4万t/年の生産能力に)
- ・次期投資計画についても検討を開始

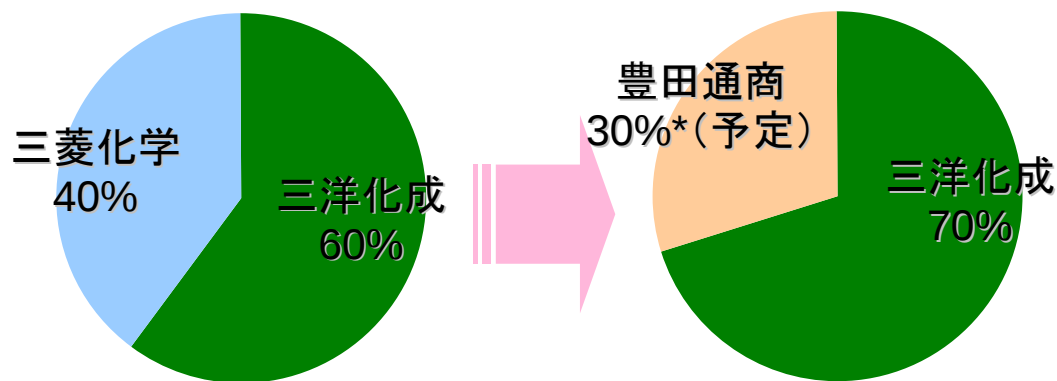
主力製品動向(高吸水性樹脂)



高吸水性樹脂の生産・研究開発・販売で新たな合併を開始
豊田通商がSDPに出資

豊田通商は、当社がSAPの商業生産を始めて以来、その販売に携わり、今後も戦略パートナーである当社との連携を強化しながらSAP、ウレタンなどのバリューチェーン強化・拡大を図り、グローバル成長戦略を展開

サンダイヤポリマーへの出資比率

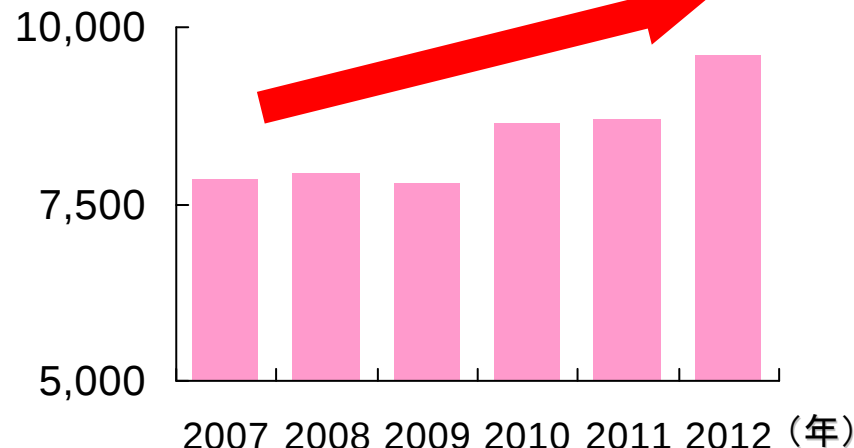


*: 豊田通商は国内外の競争法に基づき必要な手続きおよび対応の完了後、可及的速やかに30%の株式譲受けを実施

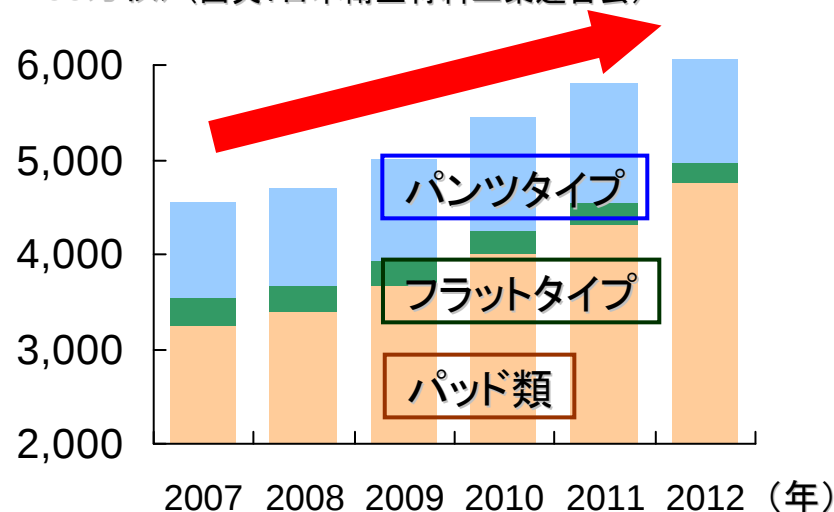
主力製品動向(高吸水性樹脂)

新興国を中心に幼児用紙おむつ市場が成長
日本等の先進国市場では、大人用紙おむつ
市場の成長力は著しく、今後も期待出来る

枚数 (×100万枚) 幼児用紙おむつ生産数量
(出典: 日本衛生材料工業連合会)

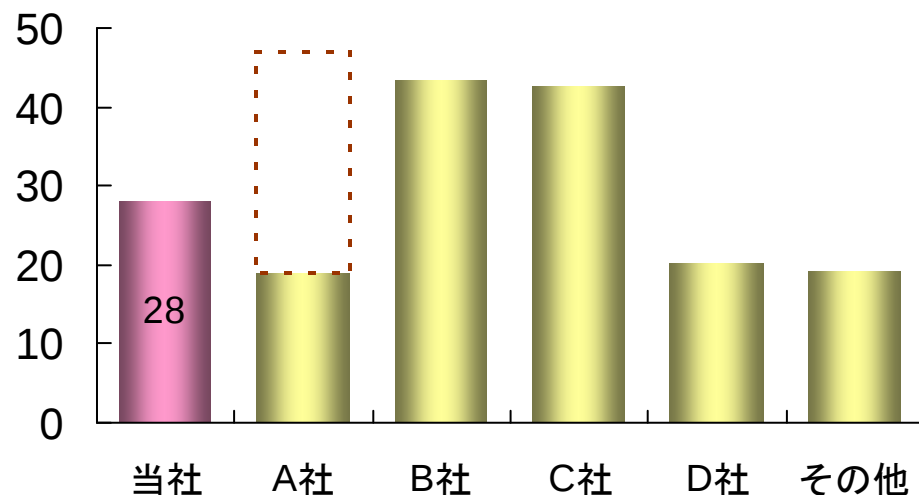


枚数 (×100万枚) 大人用紙おむつのタイプ別生産数量
(出典: 日本衛生材料工業連合会)



SAPメーカー別世界生産能力

(万t/年) ('13年4月末、自社調査)



主力製品動向(トナー用材料)

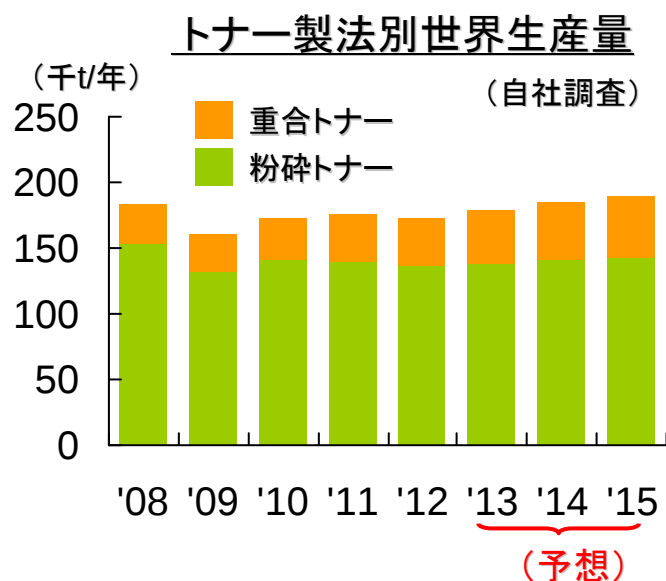
【市場予測】

- ・高精細、省エネニーズの高まりから、重合トナー(ケミカルトナー)への期待増(年率8%以上の成長期待)
- ・粉碎トナーの需要拡大(新興国中心に世界では年率2%で成長)



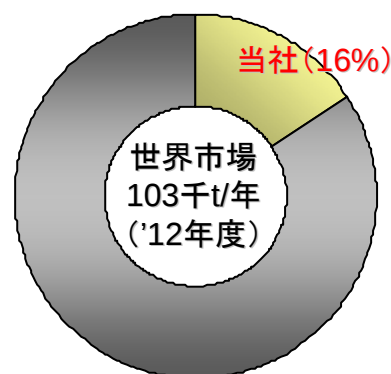
【当社の状況】

- ・経営資源を集中し、低温定着性能の向上等の開発を促進

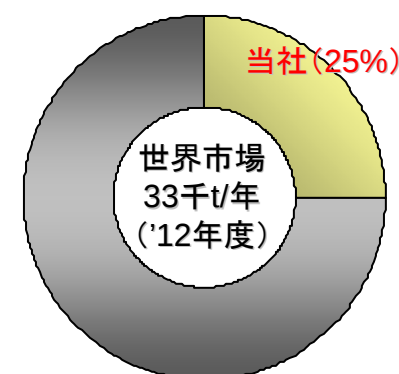


当社シェア(自社調査)

粉碎トナー用トナーバインダー



重合トナー中間体原料



主力製品動向(ポリウレタンフォーム用原料)

【市場予測】

- ・ポリウレタンフォーム用原料(PPG)は、自動車内装材や家具などのクッション材として使用
- ・世界的にコスト競争が激しい
- ・世界では年率4%で成長期待('12年度についてはやや成長鈍化)
(中国では年率5%で成長、日本・韓国市場は飽和)



【当社の状況】

- ・日本市場(27万t/年)では、シェア第2位
- ・軽量化による自動車の燃費向上等、機能性を高めたPPGを供給することで、利益性を高める
- ・衣浦工場に新プロセス対応PPGパイロットプラントが稼働



パイロット設備を導入した
衣浦工場AOAプラント

主力製品動向(潤滑油添加剤)

潤滑油添加剤『アクルーブ』とは？

- ◆1963年潤滑油添加剤『アクルーブ』を上市し、約50年販売を継続
- ◆主な機能として、潤滑油に加えることで、潤滑油の温度による粘度変化を小さくする作用(粘度指数向上剤)を担い、燃費向上に寄与
- ◆国内外3拠点における生産体制を整備

生産能力		備考
京都工場	2.0万t/年	1.0万t×2('11,'12増設) ('13新設)
鹿島工場	3.0万t/年	
SCR	0.4万t/年	
合計	5.4万t/年	



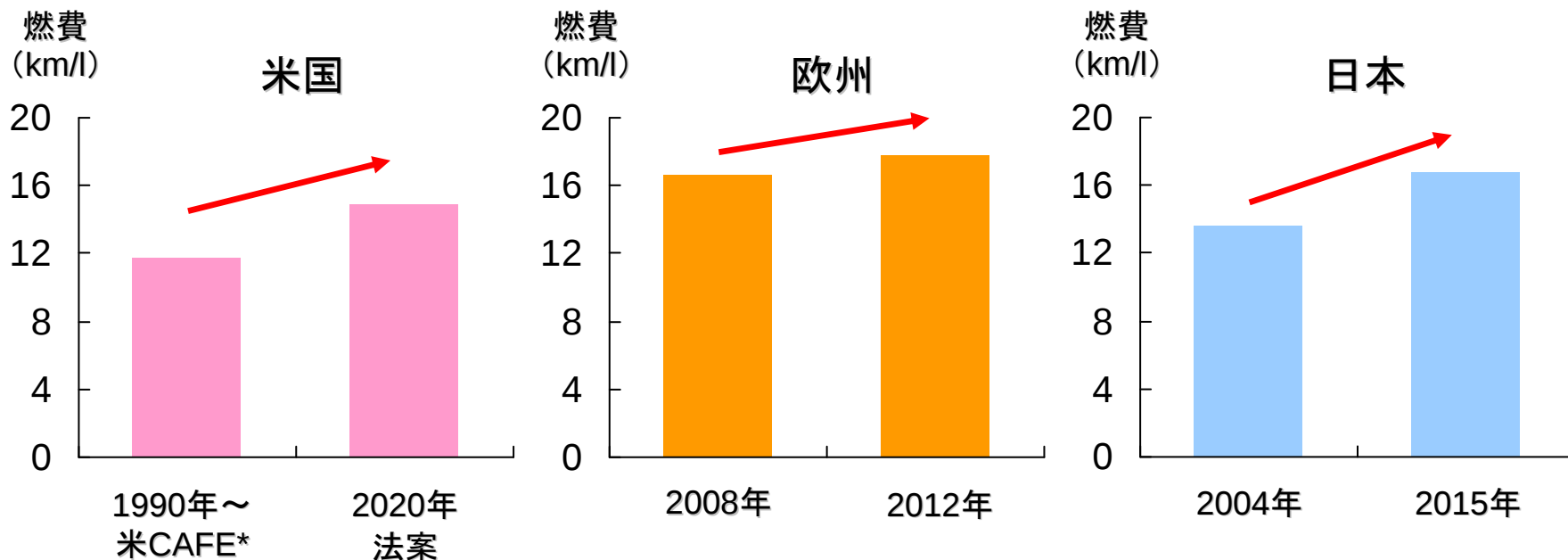
SCR

何故、当社の潤滑油添加剤が急成長を遂げているのか？

主力製品動向(潤滑油添加剤)

各国の乗用車の燃費規制比較(日米欧)

(出典: 日本自動車工業会)

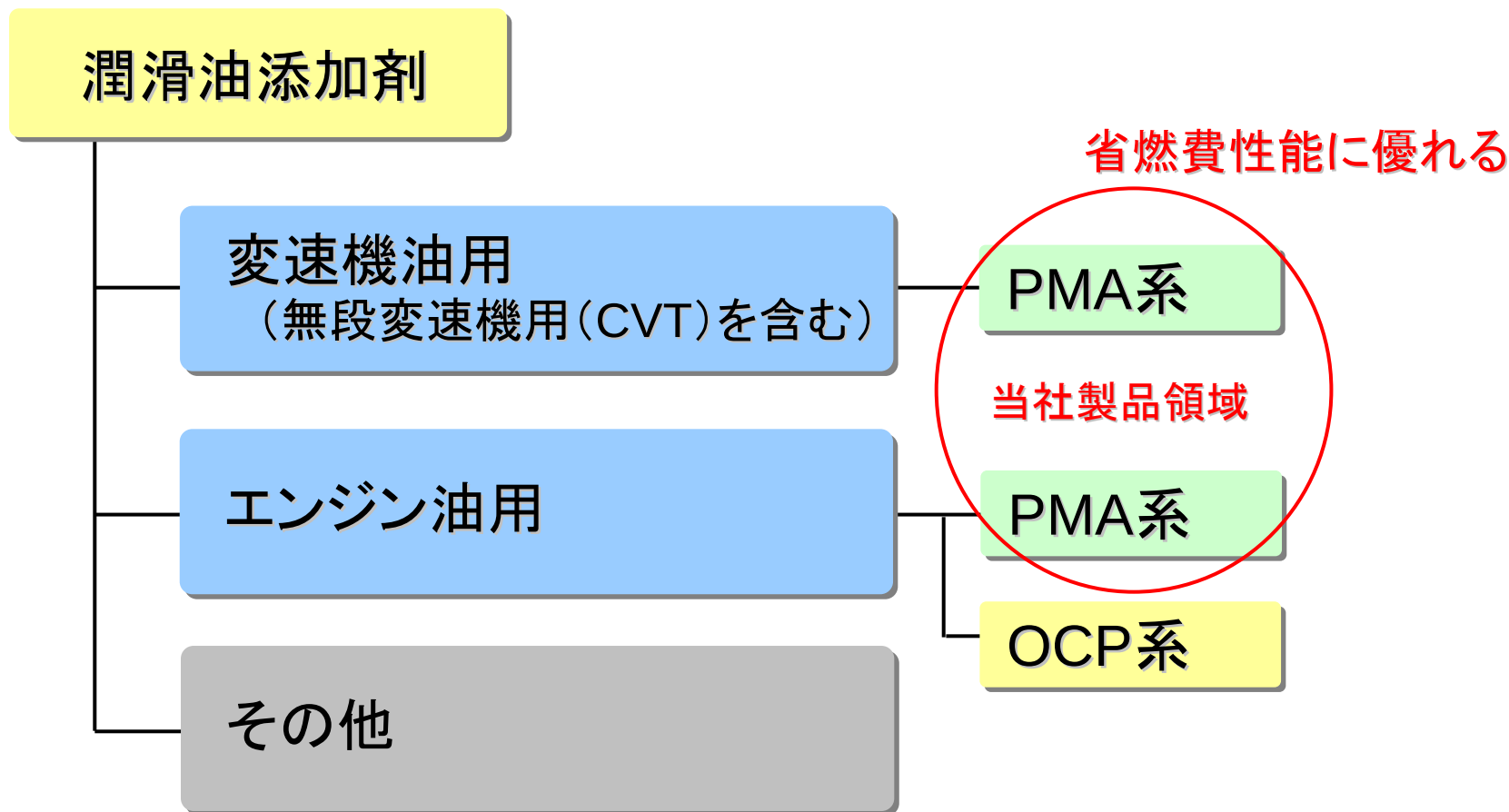


(*CAFE: 企業別平均燃費規制)

各国の燃費規制が厳しくなっており、燃費向上にむけ潤滑油(潤滑油添加剤)への期待が高まっている

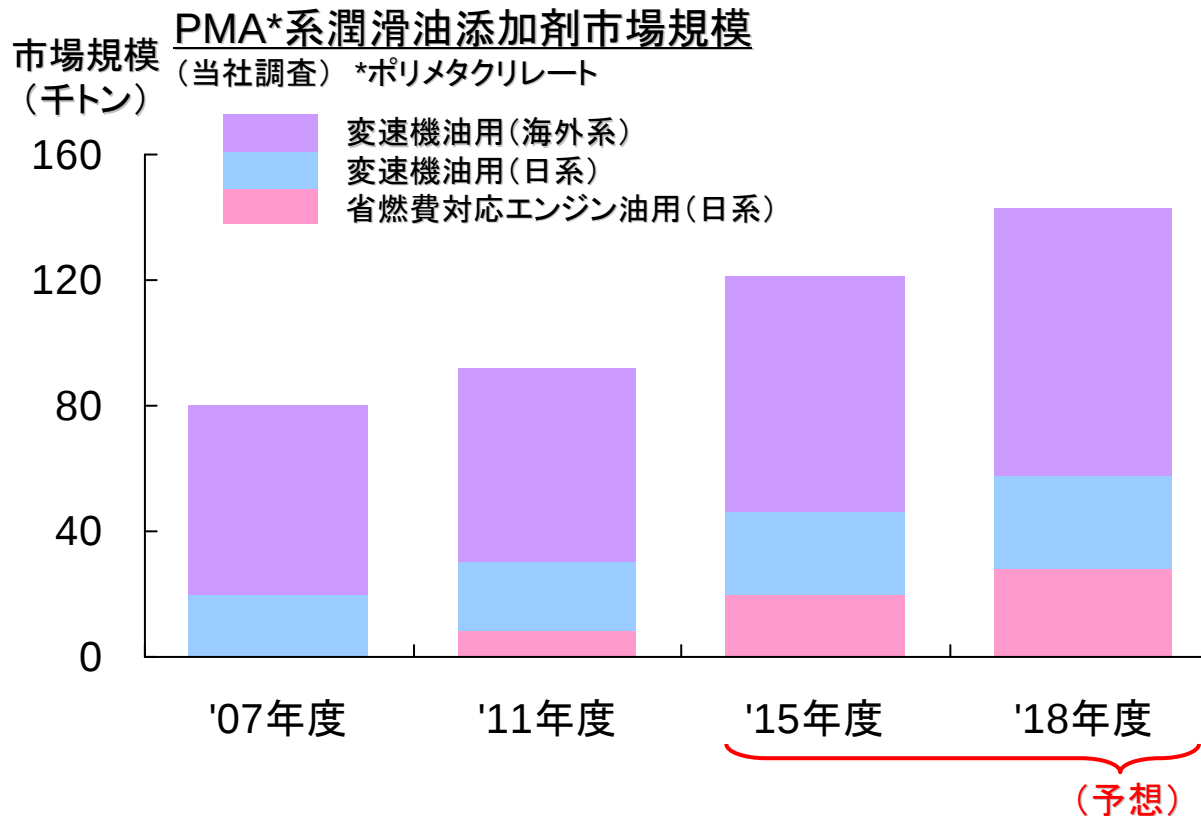
主力製品動向(潤滑油添加剤)

潤滑油添加剤(粘度指数向上剤)の用途及び主な組成



エンジン油用はOCP系から省燃費性能に優れる
PMA系へ一部シフトしつつある

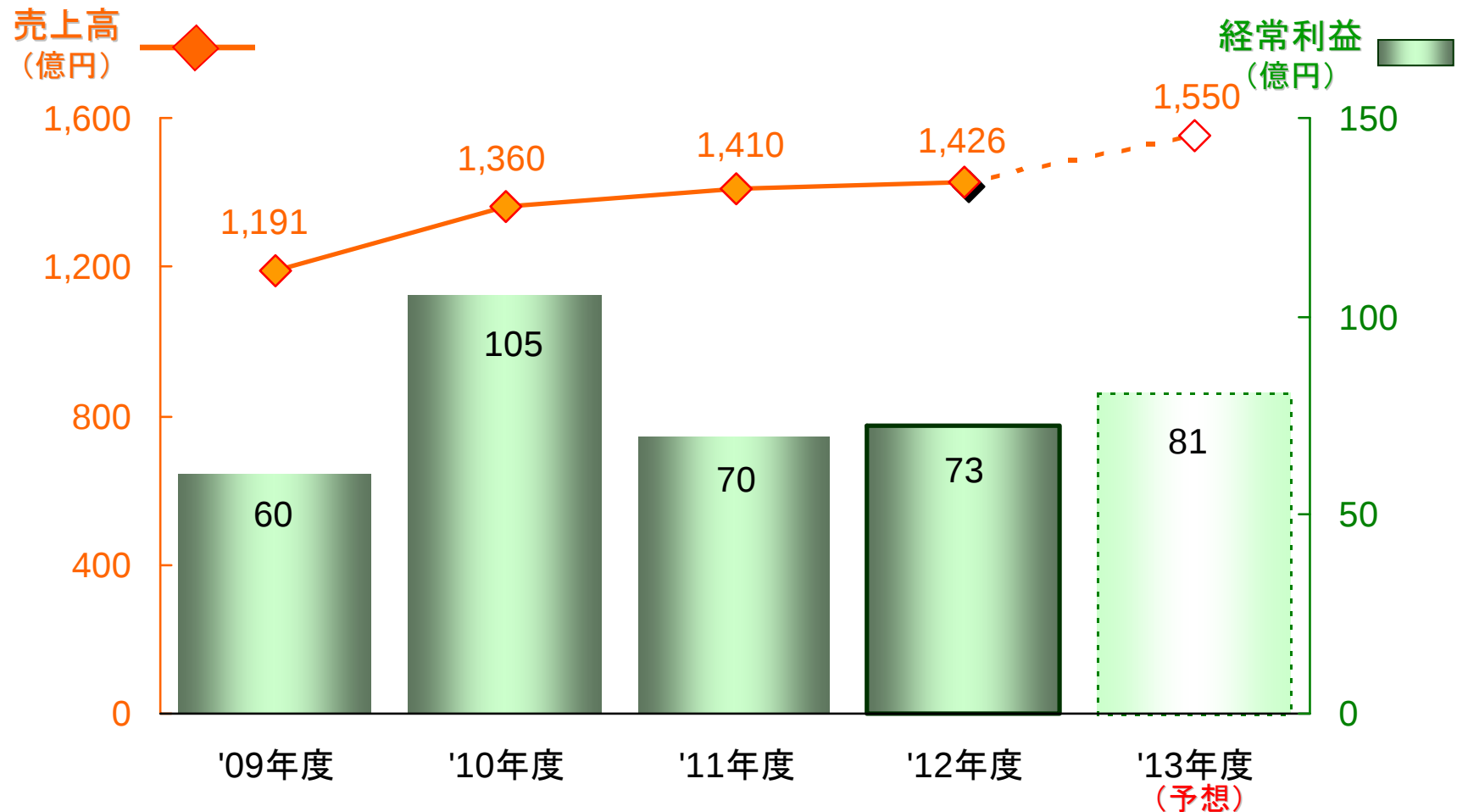
主力製品動向(潤滑油添加剤)



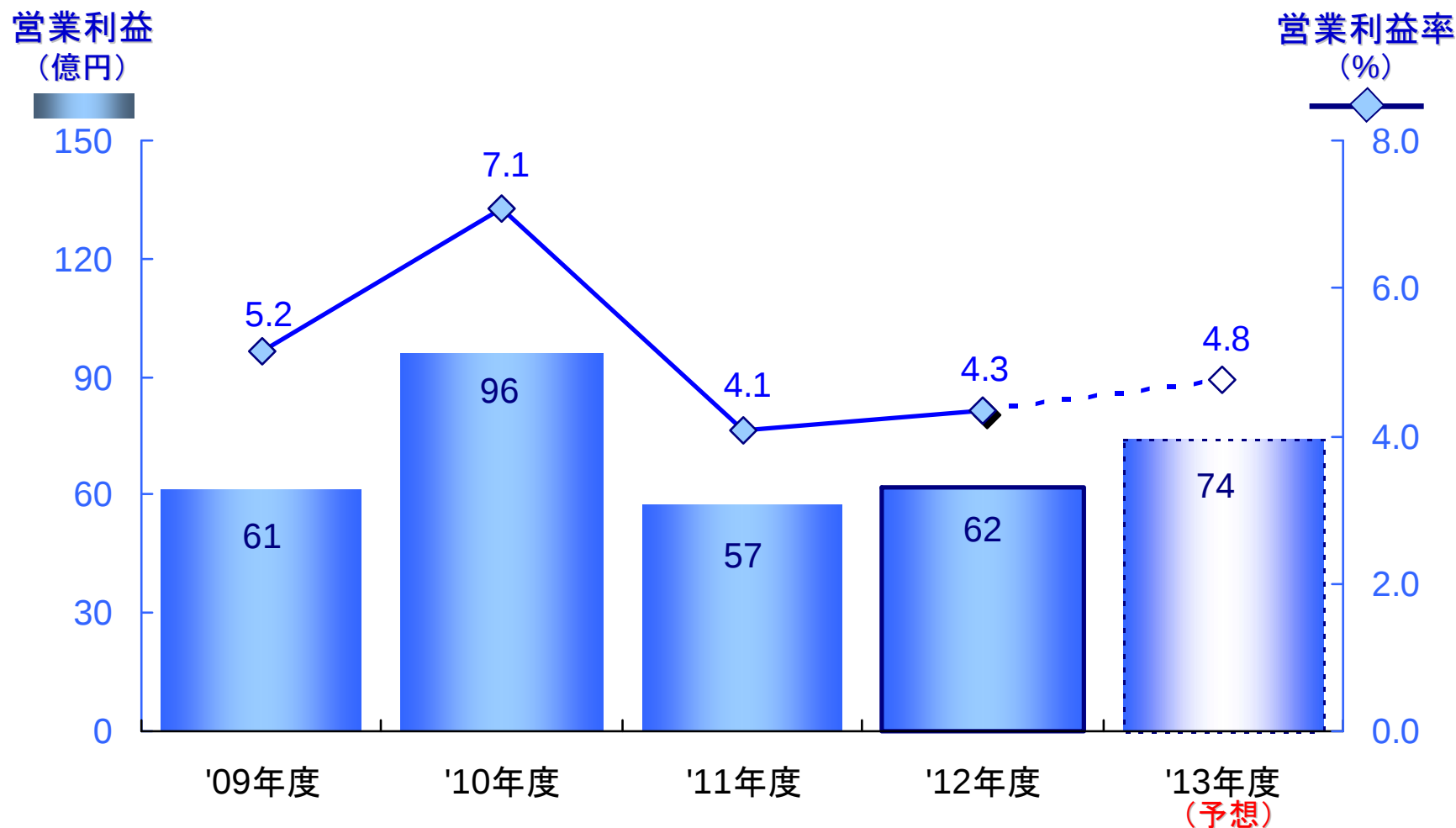
- ◆エンジン油の性能はILSAC(国際潤滑油標準化認定委員会)/API(米国石油協会)規格により規格化されており、求められる省燃費性能は規格改定毎に強化
- ◆現在の規格(GF-5)は、2016年頃に改定(GF-6)される見込みであり、さらなる省燃費性能の強化が求められる
- ◆エンジン油用潤滑油添加剤は、従来のOCP系から省燃費性能に優れるPMA系に一部シフトしており、今後の市場拡大に期待

参考資料

連結業績の推移('13年度予想)



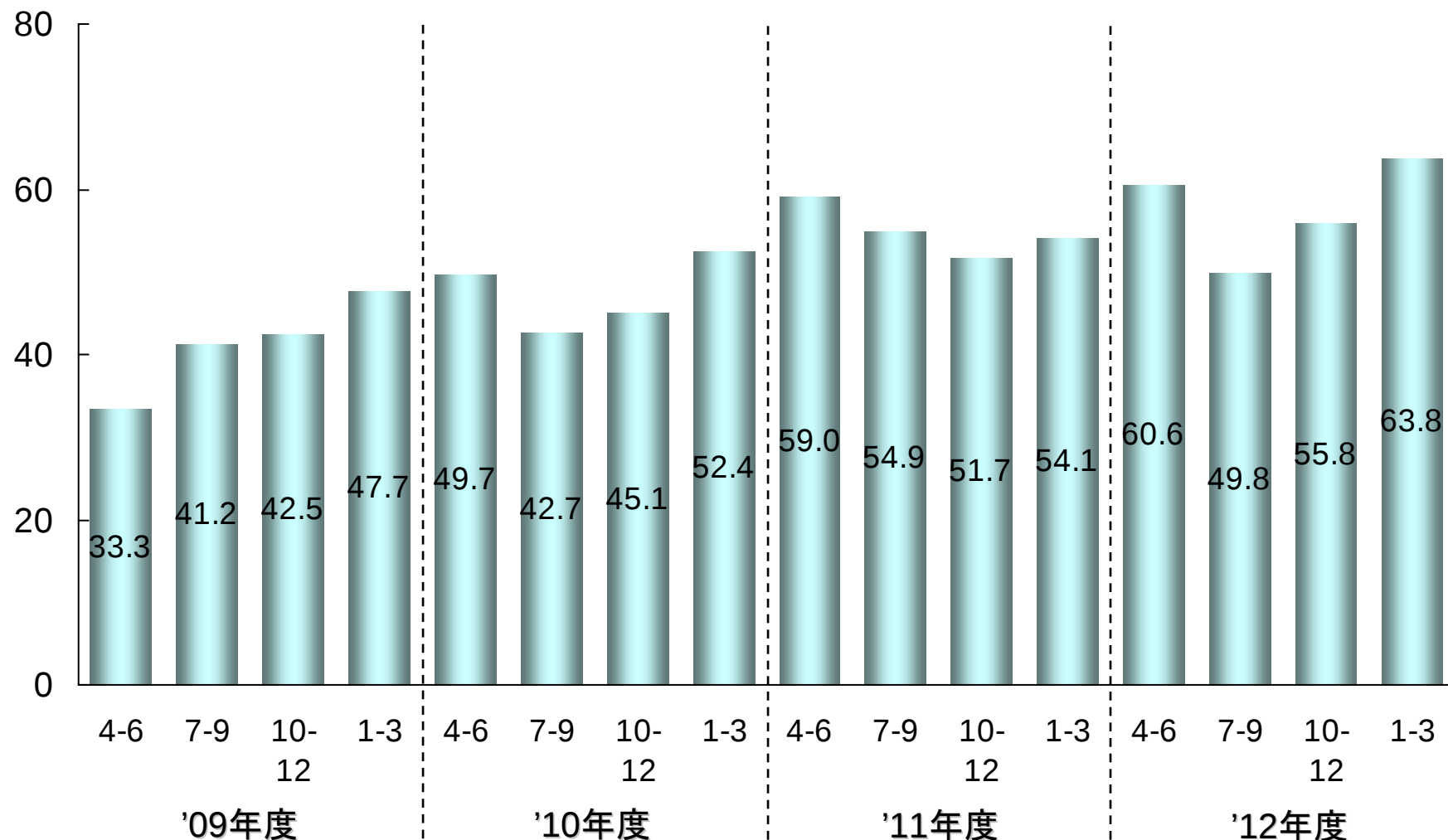
連結営業利益(同率)の推移('13年度予想)



国産ナフサ価格の推移

国産ナフサ価格

(千円/kl)



国内連結子会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
サンダイヤポリマー(株)	SDP	三洋化成工業(株) 三菱化学(株) ※1	70% 30%	高吸水性樹脂の製造販売
サンノプロ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、特殊コーティング剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) エアー・プロダクツ	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋運輸(株) ※2	三運	三洋化成工業(株)	100%	運送業

※1: 豊田通商は国内外の競争法に基づき必要な手続きおよび対応の完了後、可及的速やかに30%の株式譲受けを実施

※2: 持分法を適用していた三洋運輸(株)は、重要性が増加したため、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めています。

(参考-4)

海外連結子会社(7社)

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成精細化学品 (南通)有限公司	中国	SKN	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
三大雅精細化学品 (南通)有限公司	中国	SDN	サンダイヤポリマー(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海)貿易 有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)ほか	89% 11%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 トナーバインダー等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	トナーバインダー等の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造

持分法適用会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	SANAM Corp. JX・ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫(株)	名三倉	三洋化成工業(株)	100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	倉庫業
(株)サンリビング	SL	三洋化成工業(株)	100%	不動産、保険・代理店業